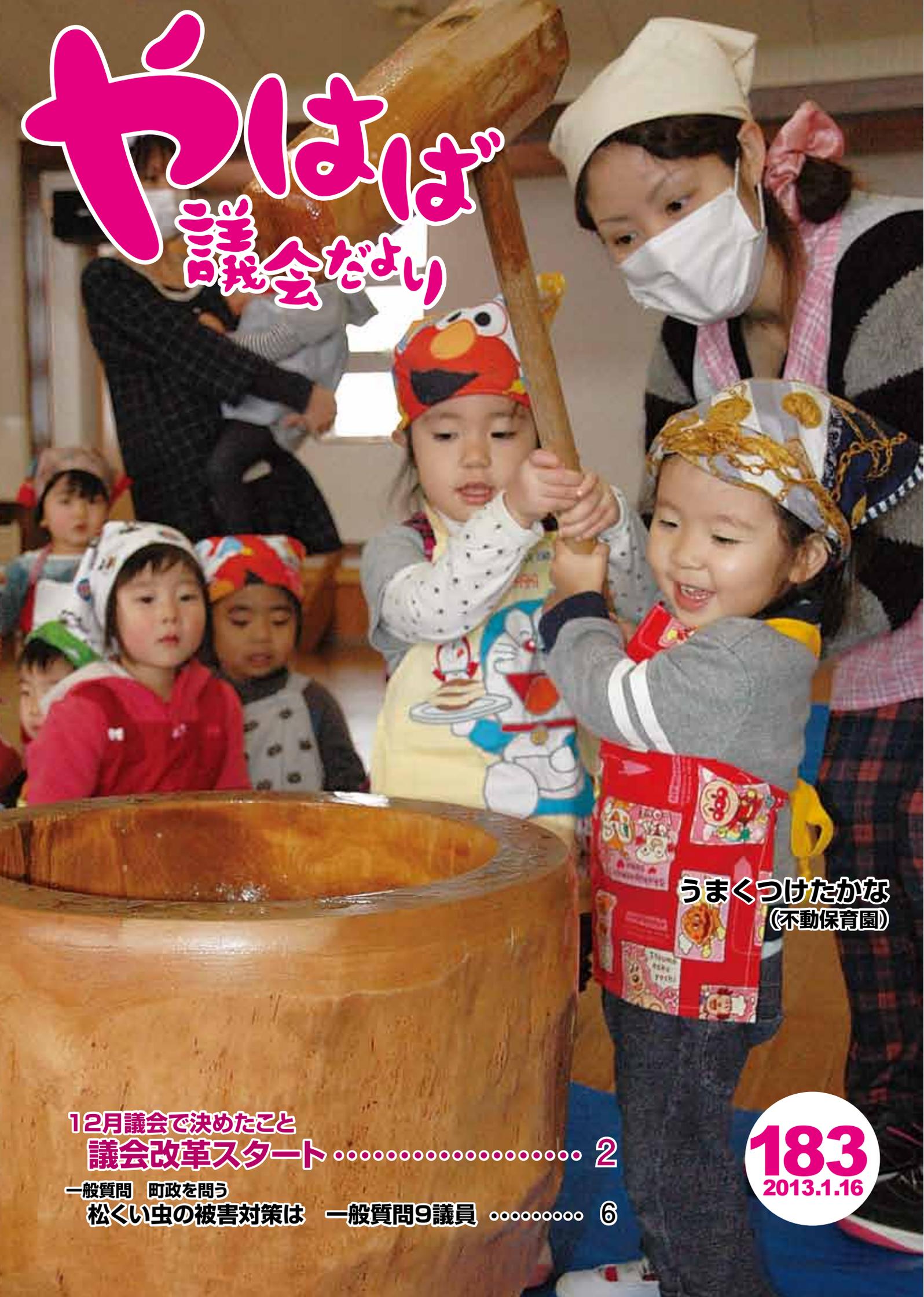


やいはば

議会だよ



うまくつけたかな
(不動保育園)

12月議会で決めたこと
議会改革スタート 2

一般質問 町政を問う
松くい虫の被害対策は 一般質問9議員 6

183
2013.1.16

議会改革スタート

12月定例会は10日から14日までの会期で開催され、公共下水道事業・農業集落排水事業の各特別会計を企業会計方式とすることに伴う条例案や、人事案件、補正予算等を審議しました。
また、議員発議により議会改革特別委員会の設置が可決され、議会改革がスタートしました。



より信頼される議会へ

議会改革特別委員会を設置

議会は町民の声に的確に応え、より一層町民に信頼されなければなりません。
議会改革特別委員会は、議会の仕組みを見直すことで活性化につながるよう、議員一丸となって取り組むことを目的に設置されました。
委員会は、議長を除く17名で構成されました。

みなさんからの請願

▽南矢幅地区道路改良・改善に関する請願

南矢幅2区自治会

代表 横澤 茂さん

全員賛成

採択

審査意見

請願路線は、町道南矢幅線の一部である。

駅西地区土地区画整理地内の道路が整備され、本路線と接続されているが、整備された道路に対し本路線の幅員は狭いままとなっている。

駅西口方面からの交通量増加に加え、矢巾中学校の移転により登下校の流れが変わり、歩行者および車両が集中して大変危険であることから、改良・改善の早期実現を望む。

契約

文化会館舞台音響設備

改修工事

7035万円

使用開始からすでに20年以上経過しており、公演中の不測の事態発生を未然に防ぐため、改修工事の契約を締結しました。
主な改修工事は、スピーカー等の舞台音響器具や調整設備等の音響装置、プロジェクター等の映像装置です。

太陽光発電設置に補助の増額

補正一般会計

補正予算は一般会計と5特別会計で計上され、一般会計は、1852万円を追加し、総額105億1280万円となりました。
主な内容は下記の通りです。

主な歳入

▽農地制度実施円滑化事業費補助金 299万円

▽岩手県きのご原木等処理事業補助金 331万円

主な歳出

▼農地情報地図化システム構築委託料 299万円

▼障がい児通所給付費 644万円

▼除雪事業 4597万円

▼太陽光発電設置補助金 120万円



文化会館(田園ホール)の音響装置



出動中の除雪車

人事案件

教育委員を選任



せきむら しょうこ
関村 昭子 さん(新)
(新田2区)

教育委員に欠員が生じたため、38年の長きにわたり教職でご活躍された関村昭子さんを、新たに任命することに同意しました。

区域変更

大字・字の変更

徳田第2地区および下矢次地区の県営経営体育成基盤整備事業が順調に進み、それぞれ平成26年1月に換地処分の予定となっていることから、新たに整備された道路、水路をもって大字・字の区域を定めます。

条例

公共下水道、農業集落排水の2事業に、地方公営企業法を適用し、下水道事業会計として一本化されます。このことに伴い、関連条例が一部改正・廃止されました。

公共下水道・農業集落排水を公営企業会計に



駅前地区の下水管布設工事

※公営企業会計とは一般会計の単式簿記とは異なり、民間企業と同様に複式簿記によって会計処理を行い、経営成績と財政状況を明らかにしていくもの。

復興産業集積区域の課税免除

東日本大震災からの復興のため定められた、岩手県産業再生復興推進計画により、指定を受けた流通センター、ウエストヒルズ広宮沢、駅西地区の3区域において、不動産や設備などに対する固定資産税の課税免除を行うため条例が制定されました。

建築協定条例

都市計画区域内で、建築基準法の規定に基づく建築協定の締結を可能とするため制定されました。

※建築協定とは土地所有者等が建築物の基準について、自発的にルールを決めて交わした契約に対し、当事者間だけでなく、その後所有権を取得した第三者においても契約の効力を及ぼすことで、当該契約の安定性・持続性を保証する制度。

法律整備に伴い

新たに制定された条例

地域の自主性および自立性を高めるための法律整備に伴い、これまで国が定めていた基準について、条例委任された内容が新たに条例として制定されました。主な内容は次の通りです。

町道の構造基準等を定める条例

道路構造の技術的基準、標識の寸法などについて定めました。

地域密着型（介護・介護予防）サービス関連条例

条例は省令に基づいた内容となっており、地域密着型介護老人福祉施設の居室定員について、基本は1人だが町

長が認める場合、例えば同一家族など4人までとすることができると、サービス内容記録の保存期間を5年にすることを町独自の基準で定めました。

※地域密着型サービスとは要介護や要支援状態となっても可能な限り、住み慣れた地域での生活を継続できるようにするためのサービス。



地域密着型サービス施設(むつき)

各議案の採決状況

平成24年第4回定例会

Table with columns for proposal number, proposer name, and decision status for various proposals.

注：藤原議長は採決に加わらない。



ふじわら よしみ
藤原 由巳 議員

農畜産物の販売実績は

おおむね平年並み



町内唯一の酪農家(菅原牧場)

質問 本年度農畜産物の販売実績を伺う。

町長 前年と比較すると、コメ106%、野菜87%、果樹135%、菌茸99%、畜産91%で、おおむね平年並みである。

質問 医大附属病院開院と藤沢・中村地区、駅東西地区開発への下水道事業の対処は。

町長 医大関連部分は26年工事完了予定、藤沢・中村地区

町長 25年度から、水安全耐震化、事業継続、維持管理、財政等の計画を策定予定。

質問 上下水道事業の長期計画を伺う。

町長 コメ生産調整は37・6%、畑作戸別補償は約1億900万円、コメは1億9900万円で支払い済み。水田活用2億7000万円は年内支払い予定。

水と下水は大丈夫か

質問 コメ生産調整の実績と戸別所得補償交付実績は。

町長 コメ生産調整は37・6%、畑作戸別補償は約1億900万円、コメは1億9900万円で支払い済み。水田活用2億7000万円は年内支払い予定。

町長 改修は必要性が高い場合のみ対応している。収支状況によっては料金改定の検討が必要である。

町長 藤沢地区は商業地と宅地区分譲で25年7月に、中村地区は宅地で4月に造成工事予定。広宮沢区画整理組合と町関係課との連携を強化し積極的に企業訪問を行い支援する。

質問 藤沢・中村地区の事業概要と広宮沢第2地区土地区画整理事業への支援策を伺う。

広宮沢区画整理への支援は積極的に支援

町長 改修は必要性が高い場合のみ対応している。収支状況によっては料金改定の検討が必要である。

質問 下水管の維持管理と企業会計制度移行による料金変更はあるのか。

は開発業者が実施予定である。駅東西は区画整理事業と連携して整備している。

ズバリ 町政を問う



一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。12月定例会では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●藤原 由巳 議員.....P7

- ①平成24年度本町農業政策の検証について
- ②上下水道事業の長期計画について
- ③藤沢・中村地区の開発計画及び広宮沢第二地区土地区画整理事業について

●山崎 道夫 議員.....P8

- ①小学校通学路の安全対策について
- ②バリアフリー新法に対する取り組みについて
- ③「人・農地プラン」作成の基本的な考え方と支援策について

●昆 秀一 議員.....P9

- ①少子化対策について
- ②公共施設のバリアフリー化について
- ③旧矢巾中学校の管理と今後について
- ④SNSの導入について

●齊藤 正範 議員.....P10

- ①松くい虫の被害対策について
- ②安全・安心のまちづくりについて
- ③人・農地プランについて

●小川 文子 議員.....P11

- ①駅前町有地への共同店舗構想について
- ②精神通院支援制度の利用について
- ③町営住宅の整備について
- ④住宅リフォーム制度の継続・拡充について

●川村 よし子 議員.....P12

- ①矢幅駅前開発について
- ②保育事業について
- ③生活道路の整備及び除雪について

●村松 信一 議員.....P13

- ①矢幅駅前地区土地区画整理事業について
- ②農業の振興について
- ③学校給食及び学校図書室の充実について
- ④平成25年度予算編成について

●米倉 清志 議員.....P14

- ①小型家電のレア金属回収について
- ②孤立化を防ぐ取り組みについて

●川村 農夫 議員.....P15

- ①旧矢巾中学校の財産について
- ②町当局と議会のあり方について

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しております。



こん しゅういち
昆 秀一 議員

どうする少子化対策

保育サービスの充実を図る



ポニーに乗って喜ぶ園児たち(煙山保育園)

一般質問 町政を問う

質問 少子化は将来的に労働力の減少、社会保障制度維持・税財政の弱体化等多数の問題が考えられる。本町における少子化の現状を伺う。

町長 出生数の減少は本町で

質問 今後の取り組みは。

町長 保育園運営の効率化や保育サービスの提供充実に向けて各保育園施設の環境整備を推進していく。

質問 婚活支援について伺う。

町長 問題点や課題が解消されるなど、システムの向上等見極めながら対応を図りたい。当面は現行の公式HPによる情報提供や、町民の声を活用していく。

児童の通学路は安全か

8カ所の改善が必要



やまざき みちお
山崎 道夫 議員

一般質問 町政を問う

質問 登下校中の児童が犠牲になる事故が全国的に相次いでおり、安全対策が求められているが、各小学校において事故の発生があったのか伺う。

教育委員長 自転車と車両の接触事故2件と自転車での転倒1件で、いずれも軽傷。

質問 安全点検の方法と結果はどのようになっているのか。

教育委員長 町内小学校から報告のあった11カ所の危険と思われる箇所を確認した結果、8カ所の改善が必要な箇所があった。



歩道のない通学路(矢次地区)

教育委員長 交通量が多く交差点に標識・信号機がない箇所と、カーブで見通しの悪い箇所。標識の設置と道路改良は担当部署へ要望した。通学路の見直しは今後検討していく。

農業に希望が持てる施策を問題解決し地域づくりを期待

質問 現在取り組んでいる「人・農地プラン」の作成では、農業と農地を守り、地域社会を活性化させる起爆剤になると思えないが、実現性のある計画策定に向けた基本的な考えは。

町長 集落や地域が抱える後継者問題と農地の有効活用問題に加え、関係者自らが話し合い、所得向上に結びつく地域づくりを期待している。

質問 作成がうまくいかない場合、その地域の未来はないと捉えるのか。

町長 未来を見据え、集落や地域が抱えている課題を解決するため、町内全域での作成をお願いする。

質問 作成にあたっての支援策は。

町長 農業関係者・農業委員をはじめ、町および農協等の連携による環境づくりと、作成支援を行っていく。

企画財政課長 婚活ネットを活用し、来年3月頃にイベントの開催を考えている。

SNSの導入を

当面は現行HPで

質問 全国で行政の公式HP(ホームページ)が、フェイスブックに移行しているところもある。

こうしたSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、住民の声が迅速かつダイレクトに行政へ伝わる方法である。

今後インターネットで双方のやり取りが行えるソーシャルメディアを取り入れては。

町長 問題点や課題が解消されるなど、システムの向上等見極めながら対応を図りたい。当面は現行の公式HPによる情報提供や、町民の声を活用していく。



おがわ ふみこ 議員
小川 文子

精神通院支援制度の周知を

通院医療の相談などで周知



自立支援医療受給者証(精神通院)

質問 うつ病など、精神通院にかかる費用が3割から1割に負担減となる支援制度があるが、町内の精神通院の実態と制度の利用状況は。

町長 精神通院医療費負担が1割に軽減される自立支援医

どうなる

駅前共同店舗

現時点では未定

質問 駅前に商工会が共同店舗を建設する構想は。

町長 商工会では、商店街活性化診断等の専門家にあるべき姿を提案していただくこととしており、現時点では未定と聞いている。

事業継続を検討

リフォーム 制度の継続を

質問 住宅リフォーム制度3力年の最終年度であるが、来年度以降も継続すべきでは。また、工事金額の下限を30万円に引き下げること、LED電灯への交換も対象にできないか。

町長 現在、事業継続の可能性等について議論を進めている。また、対象額の下限引き下げ、対象工事の見直し等についても検討していく。LEDについても別途検討する。



さいとう まさのり 議員
齊藤 正範

松くい虫の被害対策は

効果的な対策を検討

質問 当町の松くい虫の被害状況をどのように把握しているか。

町長 毎年行っている巡視管理業務の委託巡回、盛岡広域振興局林務部の巡回、所有者からの調査依頼により把握しているのが主である。

質問 町や自治会などが管理する松への予防対策の実施状況と効果は。

町長 町が管理する松には、最も効果のある樹幹注入を行っており、樹幹注入ができない細い松へは薬剤噴霧を検討している。自治会の松については把握していない。



樹幹注入で予防対策(不動小)

質問 個人所有の松で被害があった場合の対策は。

町長 国や県の補助事業を活用し、被害松92本を今年度処分する予定である。その他については来春実施予定。

質問 地域一体となった薬剤散布で、その防除費用を軽減させる事業の実施が必要では。

町長 被害防止に対する意識を高める環境づくりが重要であり、防除を踏まえた効果的対策を検討する。

自主防災の 活動状況は 多くの町民に 訓練参加促す

質問 自主防災組織は、県の求めている活動や訓練ができているか。

町長 町民への訓練参加を促し、有事の際の行動に対しての訓練を実施していく。

質問 組織がない地域への防災活動の支援は。

町長 各種防災訓練への参加が意識の醸成の一翼を担うため、今後も自主防災の必要性を訴えていく。

質問 災害時要援護者名簿の整備は。

町長 今年度から、台帳に登録を希望する者からの申請により、名簿整備を進めている。

質問 アンケートを実施すると聞いているが、その範囲は。

町長 商工会では約300人に実施予定であり、併せて駅前の移転事業者を対象にヒアリングを行い、今後の方向性を検討することとしている。

療制度の給付決定者は228人となっている。

質問 制度の情報周知と震災避難者への対応は。

町長 ホームページへの掲載や、通院医療についての相談時に制度の周知を行っている。また、避難者へは保健師による避難者世帯の家庭訪問の際にも情報提供を行っている。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員

給食食材に地元産を

生産者の協力で割合向上



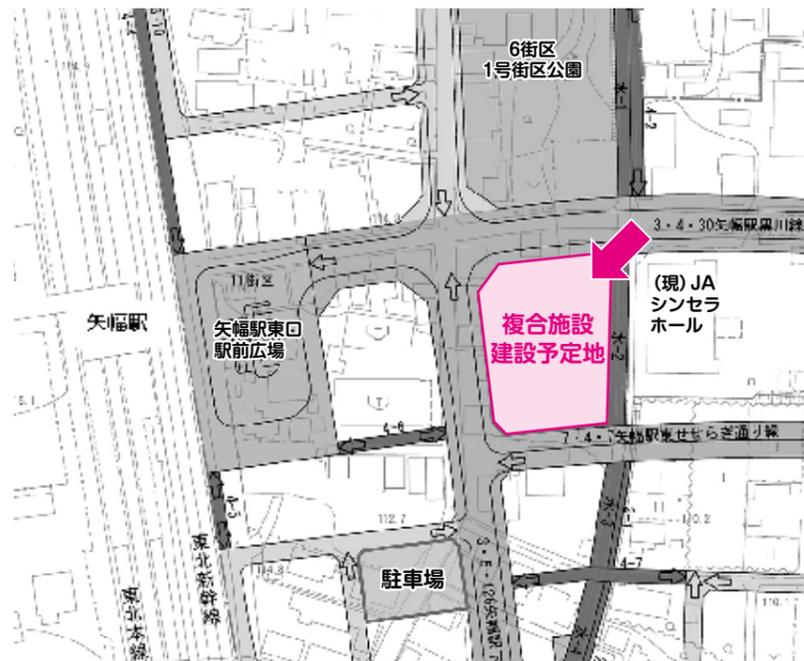
共に汗を流した稲刈作業(矢巾中生徒)

質問 学校給食における地元産食材使用割合の推移と高めるための工夫は。

教育委員長 以前は60%台だったが、猛暑の関係で22年度以降は51%台である。生産者と次期栽培計画や必

複合施設の維持費は

年間約1億円の見込み



矢幅駅前開発予定図

質問 複合施設への交付金の見込みは。また年間維持管理費と期間は。

町長 国の交付金は建設費の40%と見込んでいる。維持管理費は駐車場と駐輪場を合わせて1億円程度であり、管理期間は平成46年まで。

かわむら こ
川村 よし子 議員

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う

質問 複合施設の駐車場が狭いのではないかと。

町長 町で設置予定の駐車場を利用していただく。

質問 区画整理地内の土地のかさ上げによる境界地の雨水排水と除雪対策は。

町長 道路側溝などに宅地内の雨水を排水する計画である。除雪は道路管理者が行う。

煙山保育園の役割は

障がい児保育に力を入れる

質問 駅西口保育園開園に伴い、煙山保育園の公的役割と入所定数規模の計画は。

町長 公的保育園として、障がい児保育に力を入れる。定員規模は、今後の人口を

要な農産物等情報交換を行い、使用割合の向上に努めている。

質問 地元農家の協力による稲作学習作業は、食育にどのような効果があるか。

教育委員長 自然に触れ合う楽しさや喜び、食の大切さを育み、地域とのかかわりを通して、地元の食文化の継承が図られている。

6次産業化推進の課題は

動機付けの研修会を計画

質問 6次産業化を進める上での課題と今後の対策は。

町長 施設整備の経費負担・販売ルートの確立や動機付けなどが課題である。施設整備を希望するときの情報提供や事務支援と、リ

見極めながら、煙山保育園も含め町全体として適正になるよう努める。

質問 保育料の低所得者への配慮は。また、第3子と同様に第2子も無料にできないか。

町長 独自軽減措置として月額1000円または2000円の軽減を実施している。第2子無料化は、新たな財政負担となることから今のところ考えていない。

団地内除雪は排雪を計画

質問 団地内の除雪計画は。

町長 団地内の主要道路は排雪を行っているが、今年度から小型除雪車両と運搬車両を使用した排雪を計画中である。今年も雪置き場として40カ所の公園などを開放する予定

ターを対象に動機付けの研修会を計画している。

質問 付加価値を高めるための農商工連携の支援策は。

町長 商工会と連携し、町内飲食店の協力を得て、町特産メニューを開発するため取り組んでいく。

駅前複合施設の建設構想

町民の意見を聞く

質問 矢幅駅前地区複合施設の建設構想の内容は。また町民の意見を聞く場は。

町長 建物の規模は4階建ての計画で、28年4月の供用開始を予定している。25年度前期に基本設計内容を町民に公開し、意見を伺い取りまとめる予定である。



ゆりの会のメンバー(筆者 左)



日本郷土民謡協会青少年みんよう全国大会 民舞団体の部で2連覇、個人の部で優勝をはじめ上位独占

岩手漆原会(矢巾町民謡保存会ゆりの会)

リーダー ^{よし} ^だ ^{なる} ^み 吉田成美さん (福祉施設勤務、西徳田1区)

笑顔を手がけ、お客様に

楽しんでもらいたい

平成24年7月29日、東京江戸博物館で行われた、日本郷土民謡協会青少年みんよう全国大会(文化庁主催)で岩手漆原会が民舞団体の部2連覇、個人の部では優勝をはじめ上位を独占しました。

青少年みんよう全国大会は51回を数える伝統の大会で、前年は沢内甚句で優勝、今回は外山節で優勝、菅笠にかすり姿と岩手の風土を生かし、基本踊りを大切にさらに組踊りも加えて創作しました。

民舞個人の部では、中澤杏梨さん(矢巾北中3年)が津軽よされ節で優勝、藤原一美さん(紫波総合高2年)が津軽あいや節で準優勝、藤原鈴さん(盛岡工高2年)が津軽小原節で奨励賞の成績でした。私は4年前に初出場し、津軽三下りで優勝、次の年は津

軽あいや節で優勝し、今回はゲストで出演しました。

稽古は週1回、大会前は青森まで稽古に行きました。踊っている時が一番楽しく、辛いと思ってもやめたいと思つた時はありません。

私たちは昨年、先生と一緒に被災地の釜石、大槌、山田、陸前高田などを回り、被災地の皆さんに元気になってもらいたい、思いを込めて踊り「良かったよ」「頑張ってる」と声を掛けられて逆に元気をもらいました。今年はさらに大船渡、宮古に行きます。

まだまだ努力しなければならぬことが沢山ありますが、感謝の気持ちを忘れず、常に笑顔を手がけ、お客様に楽しんでもらうため、踊りの美しさ、華やかな舞に磨きを掛けていきたいと思います。

あ と が き

予想はしていたものの、突然の総選挙と震度5弱の地震と、12月上旬にしては早すぎる積雪とで、慌ただしさが否めない師走であった。

総選挙で示された国民の判断が、被災地の復興や危険な原発からの一日も早い脱却、そしてささやかな幸福につながることを希望している。

12月議会では、議会改革特別委員会が設置された。町民の声をしっかりと聞き、町民福祉の向上に果たす役割を自覚し、町民に信頼される議会を目指していきます。

今年もどうぞよろしくお願いたします。

編集副委員長

小川 文子

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文子

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

藤原 梅昭